

『2023年度 レフェリーの目標と9人制の重点指導項目』

JVA大会運営事業本部 審判規則委員会 指導部

1 目標

- (1) 競技規則の精神を理解し、論理的・実践的な知識を習得する。
- (2) 正しい判定をするための眼を養い、そのための基本的な動きや位置取りを研究し、審判技術の向上に努める。
- (3) 多くの経験を通して、強いメンタルと人間性の醸成に努め、よりよいゲームマネジメントに繋げる。

2 重点指導項目

【主 審】

- (1) 最終判定について
 - ・責任を持って説明ができるよう、最終判定を行う。
- (2) ハンドリング基準について
 - ・講習会等へ積極的に参加し、すべての審判員がハンドリング基準の統一を図る。
- (3) ブロッカーのボールタッチについて
 - ・複数のブロッカーの場合、どの選手にボールが接触したかを確実に判定する。
- (4) サービス許可の吹笛のタイミングについて
 - ・ラリー終了から次のサービス許可の吹笛までの間に、確認すべきことをルーティン化する。
- (5) 試合開始前のプロトコールについて
 - ・試合が定刻に開始できるよう、副審と協力しプロトコールの時間をコントロールする。

【副 審】

- (1) ワンタッチの補佐について
 - ・主審が補佐を求めているか目を合わせて確認する。
 - ・明らかなワンタッチを補佐する必要はない。
- (2) 選手交代の組み合わせの確認について
 - ・選手交代およびセット間の選手交代は、記録員とともに組み合わせを確認する。
- (3) タイムアウトの要求の確認について
 - ・タイムアウトの要求がサービス許可直前の場合にも適切に対応する。
- (4) タッチネットの判定について
 - ・アタッカーのアタックヒット後、ネット付近に目を残し、的確に判定する。
- (5) 試合開始前のプロトコールについて
 - ・試合が定刻に開始できるよう、主審と協力しプロトコールの時間をコントロールする。

【記録員】

- (1) 選手交代の組み合わせの確認について
 - ・交代できる組み合わせかどうか慎重に確認する。
 - ・セット間の選手交代は、前セット終了時の状況を基準に、組み合わせを確認する。
- (2) サービス順の誤りの処置について
 - ・速やかに処置ができるよう、正しい手順を確実に把握する。
- (3) 記録員としての心構えについて
 - ・審判団の一員として正しく試合を進めるよう任務を遂行する。